

第6回 MAJESTy セミナー

アジアとヨーロッパを舞台に活躍する二人の科学ジャーナリストを迎え、
二夜にわたってそれぞれにご講演いただきます。

第一夜

演題: 「In the Danger Zone: Writing on Science in Chernobyl, Iran, and North Korea」

講師: Richard Stone 氏 (Science 誌 アジア地区ニュース編集長)



プロフィール: 米国 Cornell 大学卒業(生物学専攻)。Pennsylvania 大学で生物物理学の修士プログラムを1年間履修。その後、科学ジャーナリズムに転向し、1991年にCalifornia 大学で科学コミュニケーションの修士号を取得。以降、Science 誌を中心に科学ジャーナリストとして活躍。2000年から同誌のヨーロッパ地区ニュース編集長となり、2005年より現職。この間、ロシア Rostov 国立大学、カザフスタン Al-Farabi Kazakh 国立大学で客員教授として教壇に立つ。また、英国 Cambridge 大学などでサイエンスライティングのワークショップを開催。1995年に Evert Clark Award を科学ジャーナリズム部門で受賞。2003年にはシベリアにおける神経性疾患の広がりに警鐘を鳴らしたレポートで、全米生物科学協会より Writing Award を受賞。タイ、バンコク在住。

日時: 2007年2月5日(月) 16:30 - 18:00

場所: 早稲田大学 小野記念講堂 [【地図】](#)

対象: 特に限定せず

言語: 英語(日本語の同時通訳付)

費用: 無料

事前登録: 必要

第二夜

演題: 「Science Journalism Across the Media」

講師: Quentin Cooper 氏 (イギリス科学番組プレゼンター)



プロフィール: “The Material World”(BBC radio 4)、“Connect”(BBC radio 4)、“New Scientist Television”(Discovery Channel)、“Science Fix”(BBC Four)など、イギリスで有名な複数の科学番組で司会をつとめる。British Council や Royal Society といった科学技術の関連機関と多くの仕事を持ち、イギリスの科学振興につとめている。Edinburgh 大学では心理学と人工知能を専攻。今では科学全般に興味の対象を広げるばかりか映画評論までももこなし、「世界で最も熱い男」(タイムズ紙)と形容される。

日時: 2007年2月7日(水) 16:30 - 18:00

場所: 早稲田大学 小野記念講堂 [【地図】](#)

対象: 特に限定せず

言語: 英語(日本語の同時通訳付)

費用: 無料

事前登録: 必要

共催: British Council

参加方法: 2/5 募集受付を停止しました